

令和4年度 第4回二宮町政策評価委員会 議事要旨

開催日時	令和5年2月2日（木） 14:00～16:20	
開催場所	二宮町役場 第1会議室	
出席者	委員	出席6名 大田 博樹 委員、高橋 哲夫 委員、山本 秀樹 委員、 井通 隆正 委員、友野 恵美子 委員、佐々木 栄一 委員
	町	政策部長
	事務局	政策部企画政策課3名
傍聴者数	0名	
会議次第	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 議事 (1) 二宮町総合戦略評価に対する意見書（案）について (2) 二宮町行政評価に対する意見等について (3) その他 4. 閉 会	
配布資料	資料1 総合戦略評価意見書（案）に対する意見（集約結果） 資料2 意見書案 総論（修正版） 資料3 意見書案 各施策（修正版） 資料4 政策に対する意見（集約結果） 資料5 行政評価に対する意見書（総論） 資料6 行政評価に対する意見書（政策評価シート）	

【議事要旨】

(1) 二宮町総合戦略評価に対する意見書（案）について

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

- 追加された総論の3点目の文章について、施策2-1だけでなく施策2-2も含めて、例えば「教育環境の充実は、」の後を「子育て世代への支援などとともに」とできないだろうか。町として子育て支援にも力を入れているはずなので、教育だけでなく子育て支援についても含めた方が良いと思う。
- ◎ 子育てについて幅広く支援していくことは大切なことであるので、意見書には今の指摘について反映を行うこと。
- ◎ それでは、今回の意見を事務局でまとめたうえ、総合戦略に対する意見書を確定すること。

(2) 二宮町行政評価に対する意見等について

(主な意見交換等)

方向性：生活の質の向上と定住人口の確保

- 政策評価の基となる基礎評価と施策評価も見たうえで、評価の段階によって使用している数値が異なってしまっていることから、読み手が混乱してしまうと感じている。例えば、⑩の意見にある数値の集計方法は、このままだとファイナンシャルイヤーかカレンダーイヤーのどちらによるものかが不明瞭である。こういった点についてどこかで補足できないものか。
- 今後の評価においては、どうしてこのような数値になっているかなど、読み手が分かるようにする工夫が必要であると思いますので、このご指摘は意見書の総論部分に組み込んでいければと考えます。
- ◎ それでは今の意見は総論に反映すること。
- ◎ 評価委員会としては、資料のとおり「概ね順調である」ということでよろしいか。
(異議なし)

方向性：環境と風景が息づくまちづくり

- 意見の中で、東大跡地とラディアン花の丘公園について言及があるが、町の公園としての取扱い方はそれぞれ違うものなのか。
- 東大跡地と花の丘公園の取扱いは明確に違いがあります。まず、東大跡地は、町として特に使用目的を定めない形で購入したもので、現在は社会実験の一環として、「みらいはらっぱ」と呼んでいる芝生の部分はプロポーザルにより選定した事業者が、

グラウンド等の部分については町民有志の協議会が運営することで、独自性や柔軟性を持って管理できる体制をとっています。対して、花の丘公園は、都市公園法などの国の決まりに則り、完全に町の管理として安全性を確保しているものになります。

○ 東大跡地の周りをよく通るのだが、イベントのない日に行くとほとんど人がいない。これだけの土地がこのままになっているのは非常にもったいないので、みらいはらっぱやグラウンドのある地区の更なる活用方法を考えることで、もう少し日常で使えるようにした方が良くと強く感じた。

○ 二宮の海岸について、国の事業が完了することを待っていると、いつまでたっても何もできないことがない。テトラが入っているのは一部分だけなので、それがない部分については資源として何かしらの活用方法を積極的に検討するべきではないか。

◎ 今の意見であると、例えば外部評価の2つ目にある「町は所有する財産の活用について～」という部分に、公園や海岸といった具体的な文言を入れて、これらの財産を積極的に活用していくことを真剣に考えていくべきと反映させればどうか。

● いただいた意見を併せて再度文章を作り直させていただきます。

○ ⑧の意見で、図書館における音楽や映像作品の充実を挙げたのだが、外部評価の中では図書館の資料充実というよりは町の文化の一部としてまとめられてしまっている。意見の趣旨としては、町の図書館にある音楽や映像作品のラインナップの専門性が低いように感じるため、書籍のように知識を持っている方に協力してもらい、魅力的で充実した内容にしていくことを目指すという意味合いとしたい。

● いただいた意見を活かした文章となるように作り直させていただきます。

◎ 公共図書館の収書方針で専門性に特化することは難しい部分があるかもしれないが、例えば大和市のように、図書館で外部にアピールすることも可能かと思う。また、小中学校の学習の中で図書館に親しみを持ってもらえるような内容を組み込んでいくのもおもしろいのではないか。

○ 意見の⑥について、外部評価に記載する際に、余熱発電施設をなくしたことで、小型水力発電という文言が浮いてしまっているのも、スマート農業に関する記述から先の部分を外部評価の文章から外してもらいたい。

また、環境について、町の魅力を創出する意味でも、ごみ問題に関する部分にもう少し予算をかけて対応しないと、住みづらい町という印象を持たれかねないのではないかと感じる。

● エネルギーに関する部分について、削除するのではなく、逆に再生可能エネルギーについての積極的な活用などについて追記することで、内容を強化する方向性とするのはいかがでしょうか。

○ エネルギー問題に対して町がどのように考えているかが現状で見えないことから、そういった部分がどこかで触れられれば良いと思うので、指摘したように文章に違和感が生じることがなければ、ここで入れる事自体に反対はない。

● 現在、次期総合計画も同時に策定作業を行っているところであり、その中で、今

後重点的に取り組むべきものとして、再生可能エネルギーの推進などに関する記述も行う予定であるため、政策評価委員としての意見においても掲載することができればと考えております。

- そうであれば、海に設置する風力発電や潮力発電といったものなど、エネルギーに関する技術も進歩してきているので、先ほど意見であった海岸の利用といった観点も含めて、これからのエネルギーを考えた町としてアピールできるのであれば例として載せていくのも良いかと思う。
- ◎ ここまでで議論のあった内容を含めた形で外部評価の文章を修正すること。
- 葛川について確認したいのだが、町でも数年前に葛川を綺麗にして親子で遊べるようにするという事業があったように記憶しているのだが、町としてこのあたりに力を入れていることはあるのか。
- 清掃などについては、葛川をきれいにする会という団体があり、そこの自主活動として清掃をしていただいています。町としては、それとは別に、きれいにした葛川に親子などで親しんでもらうため、生物観察やいかだ体験などのイベントを環境グループと共催で行ったりしています。
- ◎ 現状では委員会としての評価は概ね順調であるということであるが、様々な意見が挙がったことから、あらためてここで多数決を行いたいと思う。
(一部順調ではない多数)
- ◎ それでは評価委員会としては、「一部順調ではない」ということでよろしいか。
(異議なし)

方向性： 交通環境と防災対策の向上

- ⑤の意見について、中学生におけるカリキュラムで防災訓練を入れられないかと思って書かせてもらった。というのも、成人してからだとなかなか防災訓練に出る機会がなく、今地域でも主婦の方に防災委員になってもらい、お子様と一緒に訓練に参加していただいていたりするが、これが非常に有効で、やるのとやらないのではいざという時の対応が全然違う。そのため、中学生くらいでカリキュラムに組み込むことで経験ができれば、大きくなってからも役立てることができるので、非常に効果的であると思う。
- 防災訓練の中学生におけるカリキュラム化について、意見書に反映できればと思います。今時点での提案として、外部評価の2点目「必ず多くの町民が参加するわけではないことから、」の後に、「中学生の防災訓練のカリキュラム化など」という一文を追加することを考えています。
- ◎ ではそのように修正すること。なお、この2点目の外部評価意見の中で、啓蒙と啓発という言葉のゆらぎがあるが、啓発の方が適切かと思うので統一をすること。
- 今の防災訓練の話について質問なのだが、この対応は中学生だけで良いのかということが1点と、もう1点、訓練だけのために土日を使うということに抵抗がある方も多いと思うので、もし、町でイベントが開催されることがあれば、その際に消

防の方に来ていただくなどして、そこに親子で参加して頂いたりするなど別の形も検討できないだろうか。

- 消防団の話になってしまうのですが、町の消防団は様々なシーンでイベントに参加しておりまして、そこで消防の体験や活動の啓発を行っています。また、中学生のことは、これまで親世代に向けては地域として色々な働きかけをしてきたものの、やはり仕事の関係などで日中の対応は難しい中で、確実にいる戦力となるのが中学生であり、その子たちが地域に還元するという意識を持てると良いと考えられることから中学生としているものかと思えます。
- 二宮町に愛着を持ってもらうためには、小中学生ぐらいから対応していかないと、将来町のために何かをしてくれる人がいなくなってしまう。そのためにも、今意見として挙げたようなことから入ってもらって、地域でどのような活動しているのか、どのような人たちがいるのかということを知って馴染んでもらうことをしないといけないと思う。
- ◎ 町の魅力として、必ずしも特別な事だけをやれば良いということではなく、安心して暮らせることや社会性を充実させることなど、それ自体が町の魅力を高めることに繋がるのではないかと思う。
- ◎ 現状では委員会としての評価は資料にあるとおりだが、これまでの議論を通して当初の評価から変更したいなどあるか。
- もし、新庁舎に関する議論が進んでいないようであれば、一部順調ではないとしたい。
- 新庁舎整備の進捗について、昨年 11 月の町長選において、現町長が整備を進めるべきと公約として掲げていることから、選挙の結果によりその結論が出たものとしてこれから進めて行くものと思っています。なお、新庁舎については、皆さまからこれまで様々な意見としていただいておりますので、総論の部分でもひとつの意見として掲載したいと考えております。
- ◎ それでは、これまでの意見で他にも当初の評価からの変更がある方もしれないので、あらためてここで多数決を行いたいと思う。
(概ね順調である多数)
- ◎ それでは評価委員会としては、「概ね順調である」ということでよろしいか。
(異議なし)

方向性： 戦略的行政運営

- ②の意見について、本当にこの方向性は評価がしづらいつと感じた。政策評価シートのみではわからないので基礎評価シートまで見たがそれでもわからなかった。政策評価の基となっている個々の基礎評価における成果が非常に単調で、課題に対して今後どのようにしていくかという情報がほとんどないため、戦略的行政運営という分野の性質もあるのかもしれないが、前年踏襲となってしまうのではないかという危惧がある。

- ◎ 私としてもその意見に同意する。
- 行政評価には、まず事業ごとに達成状況や課題を整理した基礎評価というものがあり、更にそれらのある程度まとめた施策評価がその先にあります。ここまでのレベル感であれば施策と事業の紐づきは見れるのですが、今回皆さまに見ていただいている政策評価は施策評価を更にまとめたものになるため、KPIもなく、そもそもの紐づいた予算事業も曖昧であることから評価が難しいことは理解しております。そういった課題を明らかにしたうえで、次の総合計画の中でどのような評価体系とするか検討するために、意見書の中でもご指摘いただきたいと考えています。
- おそらく方向性のタイトルにある戦略的という部分が分かりづらいのではないかと思います。この言葉が目立ってしまい、結果どのような戦略をもってそれぞれの事業が成されているのかが具体的でなくなっているため、少なくとも何かここだけはやりたいという目的がはっきりしていれば良いかと思います。
- 資料6の上部にある背景と現状に記載されている部分が、戦略的行政運営の概要となっており、ちょうどこの策定期間に、少子高齢化が進む中でこれからは町行政のダウンサイジングを図っていかなければいけないという議論があったことからこのような内容になっています。
 目指す部分としては、少子高齢化・人口減少かつそれに伴った施設の更新、適切な財政運営などを見据えた行政としての新しい形を目指したものでありますが、他の事業と比べて内部的なものが多かったこともより分かりづらさに拍車をかけていたものかと思えます。そのような問題も考慮して、今後どのように進捗を判断していくのかという考えが必要になっていくものと考えております。
- 要するにここで言いたいことは、課題となっているのは人口減少なので、いかにしてそれに対し町民への影響を少なくなるような形で行政サービスのダウンサイジングを図っていくかということになるかと思う。ただ、これは行政内部の話なので、なかなか評価として意見がしづらいように感じる。
- ◎ 現在の評価としては「概ね順調である」としているが、特に変更の希望がなければ評価委員会としての結論としてよろしいか。
 (異議なし)

意見書総論について

- 先に行っていた戦略評価とこの行政評価が強くリンクしていないと評価がしづらく、やっている事業の紐づけもずれたりしているため、評価の過程で混乱を生じることになる。そのためにも今後この二つの評価を集約していった方が良いと思うのだがどうか。それぞれが似ているのに微妙な違いがあるが、その違いや評価の基準が良く分からないことから、分かりやすく連携させることで、一度で効率的に評価できるような仕組みを構築することとした方がよいと思う。
- まず、総合計画は、町の事業全体を網羅しているもので、それをひとつひとつ評価するものが行政評価となります。対して総合戦略は、総合計画の中で人口減少・

少子高齢化に対応したものを抜き出して体系的に組み立てをしたものになります。おそらく今回は、戦略の評価を行った後で、より大きな行政評価を行っていただいたために混乱を招いてしまったものと思います。ご意見として、総合戦略と総合計画の関係性が分かりづらいというのはその通りだと思いますので、総論に文言化していければと考えているのですがいかがでしょうか。

- 総合戦略の評価と行政評価の関係性を明確にして、評価をしやすいようにしてもらいたいということを入れていけば良いのではないかと。
- ◎ それでは事務局にて、本日あった意見を取りまとめたうえ意見書への反映を行うこと。

(3) その他

- 今後の進め方について協議させていただければと思います。進め方として、今回いただいたご意見を意見書に反映したものを再度皆さまにお集まりいただいたうえで諮らせていただくか、最終的な修正の確認については委員長一任として、委員会としての会議は本日で最終とさせていただくかになります。事務局としては、今後は委員長一任として最終的な確認をしていただく方法ご提案したいと考えているのですがいかがでしょうか

(異議なし)

- ◎ それでは今後は事務局の提案したとおり進めて行くこととする。
- それでは、ご承認いただいたとおり、事務局で今回のご意見を反映した後、委員長と確認作業をさせていただきます。議事録の送付の際には、委員長との調整前にはなりますが、一度、修正後の意見書も併せてお送りできればと考えております。また、意見書の提出前にはあらためて皆様に最終版をお送りさせていただきます。最後に、さきほど申し上げたとおり、これから委員長と最終調整をさせていただいたのち、意見書を確定させていただきますので、令和4年度の政策評価委員会は、今回が最後の会議となります。

【以上】